

## ② かけはし 梯川改修事業（梯川分水路）

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

**キーワード** 水害対策、引堤、文化財保全との両立

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

石川県内の梯川で、洪水を安全に流すために川幅を約80mから約120mに拡幅する引き堤を実施した事業。

当初、引き堤に伴い小松天満宮の移転が必要となる計画であったが、歴史的・文化的シンボルであるため原位置に保全できるよう分水路方式に変更。合わせて歴史的町並みも復元。これにより文化財の保護と良好な景観形成を実現している点が評価された。

### 1. はじめに

梯川は、昭和46年に国による河川改修に着手し、順次、引き堤による河道の拡幅工事を進めているところであるが、河口から約3km地点には国の重要文化財に指定されている小松天満宮があり、この歴史的文化施設を現位置に保存するため分水路方式による整備を行った。

事業期間は平成12年～29年であり、この間、地域の歴史・文化、周辺景観との調和を図りながら、かわづくりとまちづくり・道づくりを一体的に整備し、平成29年11月に竣工した。



梯川分水路全景

### 2. 事業の概要

梯川の改修計画は連続的な引堤方式を基本としており、小松天満宮についても移転対象となっていたが、この地域の歴史的・文化的なシンボルであること、国指定の重要文化財であること、立地の位置そのものにも意味を持つことなどから、現位置での保存が強く求められた。このため、平成8年に治水対策と文化財保全の両立の観点から、小松天満宮を浮島として現在位置に保存する分水路方式に見直しされた。

また、この分水路整備にあわせ、関係機関が連携し地域の個性豊かな歴史・文化を活かしつつ「川」・「まち」・「道」づくりが進められることとなり、平成29年度までに全ての事業が完了している。

### 3. 事業の成果

分水路は平成28年11月に暫定的な通水が可能となった後、平成29年に入り氾濫危険水位を超える洪水が2度発生したが、いずれの出水においても分水路を安全に流下するとともに、周辺の水位低減が確認されるなど治水効果を発揮している。

また、「まち」・「道」づくりに関しては、地元の協力を得ながら旧北国街道の歴史的町並みの復元する取組みが行われるとともに、「小松大橋架替」に合わせた周辺の市道の整備も行われ、天満宮周辺の生活道として利便性や安全性の向上が図られている。



歴史的町並みの整備状況（小松市大川町）

### 4. おわりに

梯川の治水安全度の向上をより一層図ることとしているが、そのためには、地域の方々からのご協力が不可欠である。このため河川事業PRなど情報発信が重要であると考え、本事業の完成を踏まえて、ダムカードならぬ「分水路カード」を作成している。



QRコード：  
事業の概要



また、天満宮の歴史的・文化的な価値と合わせ、「分水路」という治水施設の存在を、地域固有の学習素材や観光資源として活用することとして、見学コース7箇所にも音声付き映像による解説が視聴出来る看板を設置している（スマートフォンでQRコードを読み取ると、音声付き映像がダウンロードされる）。当地周辺には他にも名所・旧跡、温泉等があるので、ぜひ多くの方々が来訪され、地域の賑わいが創造されることを期待している。

賛助会員 (株)江口組、(株)建設技術研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)丸西組、(株)吉光組